

令和7年5月21日

## 入試区分による成績分布分析（令和6年度卒業生）

IR室

標題の件、下記のとおりご報告いたします。

### 記

#### 1. 分析の目的と実施内容

- (1) 本学では令和5年度入学生までは、成績評価「優」を3、同「良」を2、同「可」を1、「不可ないし評価不能」を0としてGrade Pointに換算している。そのGrade Point合計数を総履修登録単位数で除した数値（平均値）をGPAとしている。GPAには学期ごと、年度ごと、累積（在学全期間）の3種類があるが、個々の学生のトータルな成績評価には累積GPAが最も適している。従って、累積GPAが3.0に近いほど成績優秀と判断される。  
(注) 令和6年度以降の入学生は「優、良、可、不可」の4段階成績区分から「A、B、C、D、F、X」の区分に変更し、D以上を合格とする。数値としてAには4を充てるため、今後の成績評価区分（数値）は4～0となる。
- (2) 令和7年3月時点の2年生の成績（累積GPA）を入試カテゴリーごとに分けて集計し、どの入試カテゴリーから入学した学生の成績が良いか把握し、今後の入試施策やアドミッションポリシーの見直しにつなげるため、分析を行った。
- (3) 令和7年3月時点の2年生の休学者除く在籍学生158名中、留年者6名の累積GPA平均は1.65と低位。一方、令和5年度入学生（2年間で卒業予定）152名の累積GPA平均は2.35。
- (4) 今回の分析にあたっては、前述の令和5年度入学生（152名）を母集団とした。本報告書では通常学生として表記する。

#### 2. 分析結果

- (1) 通常学生のうち、累積GPA最高値では総合型選抜A日程の学生1名が2.98、同1名と同B日程1名が2.96という素晴らしい成績であった。累積GPA2.90以上の成績超優秀学生は他に総合型選抜A日程2名、指定校推薦1名の合計6名であった。また、累積GPA2.8以上の成績優秀学生は21名。内訳は総合型選抜A日程が7名、学校推薦型選抜10名（うち指定校8名）、総合型選抜B日程2名、大学入学共通テスト1名、社会人特別選抜1名という状況であった。

(2) 全学の成績では平均値 2.35 (5 年度 2.24、4 年度 2.46)。

前年度比+0.11 であった。

成績上位者の成績は昨年度と同様、非常に高い水準にある。全体平均値は年度によってバラツキがあるが、優秀な層の学生は毎年度必ず存在している。

(3) 入試区分別の GPA 平均値は以下のとおり。

①総合型選抜 A 日程は 2.35 (5 年度 2.17)。

うちオンライン型 2.45 が最も高く、以下ポテンシャル型 2.35、コミュニケーション型 2.20 であった。

②指定校推薦型選抜 2.30

5 年度 (2.32)、4 年度 (2.52) より若干低下しているが、大きな違いは無かった。

③その他

総合型選抜入試では、2 回目 2.42。同 3 回目以降とその他 (共通テスト、社会人) は母数が少なく、分析に馴染まない。また成績もバラツキがある (最高値 2.86～最低値 1.65)。

### 3. 意見

成績上位者 21 名 (累計 GPA2.80 以上) のうち指定校推薦が 8 名、総合型選抜入試 1 回目が 7 名を占めており、双方の入試で優秀な学生の確保が必須と考えられる。

以上のことから、今後の学生募集にあたっては、従来の分析結果と同様、指定校推薦入試と総合型選抜入試の早期の段階 (1 回目) での選抜を中心に進め、成績優秀な学生を確保していくこととしたい。

以上